## 用語説明

```
すべての条件を満たす必要がある。
  ての条件を満たした上で、設置場所の高さと許可される接地面積の中から角度が最も緩やかになる角度を各プレート毎に求め、角度が緩やかな順にして返す。
差の形状によって、奥行きの条件は変化する
 ートの奥が、段差に接しているものと地面に接しているもの両方0K
が段差に接している場合は、段差の高さとプレートの奥行き(傾斜)から底辺を計算し、この底辺がクエリの最大奥行以内である必要がある。
製が地面に接している場合は、プレートの奥行き (底辺) がクエリの最大奥行以内である必要がある。
   トの奥が、段差に接する形状のもののみ対象とする
  D上にプレートを置く場合、階段1段1段の角にプレートが接触するため、最小奥行きは(階段全体の奥行き/段数*(段数+1))以上となる。
J これは、AR_SCAN部分で傾斜の線をプレビュー表示した上で、斜辺の線が段差の角と接触しないことを確認しながら最小奥行きを決めてもらう。
Eめ、このAPIに投げられた最小奥行きはニーズを満たしている。
って、階段型の条件は、プレートの奥行き(斜辺)と設置場所の高さを使用し、底辺の長さを求めた上で、底辺の長さが(最小奥行き\<=底辺の長さ\<=最大奥行)の条件を満たす場合で
  県によく見られるが、側溝のように段差と地面の間に隙間があり、その隙間を超えなければならない場合はこの処理が必要
NR_SCANの段階で、斜辺をプレビュー表示しながら最小奥行きと最大奥行を決定してもらう
そのため、このAPIに投げられるクエリはニーズを満たしている。
って、岡山型の条件は、プレートの奥行き(斜辺)と設置場所の高さを使用し、底辺の長さを求めた上で、底辺の長さが(最小奥行き\<=底辺の長さ\<=最大奥行)の条件を満たす場合である
     ・
かため、何枚かを横に並べる必要があるのだが、それでもピッタリは行かない。<br>
、左右に余白ができる。この余白が*∗10㎝以内かつ設置場所の横幅全体の5%以内でかつプレートの横幅が120㎝以上**でなければ、車椅子が脱輪する可能性があり危険である。
    の条件を満たす場合は、何枚つなぎ合わせればよいのか求める。
プレートの中には、転落防止のために両端に出っ張りがあるものがある。<br>
この場合、繋げて使用することはできないため、このタイプのプレートの場合は、余白の条件を満たした上で、必要個数が1つだけの場合のみ候補に表示
```







